

研究タイトル：

動画教材を活用した反転学習の研究



氏名：	武田 淳 / TAKEDA Jun	E-mail：	jtakeda@sendai-nct.ac.jp
職名：	教授	学位：	学士(文学)
所属学会・協会：	全国高等専門学校英語教育学会 COCET, 全国英語教育学会 JASELE, 大学英語教育学会 JACET, 全国語学教育学会 JALT		
研究分野：	英語教育, 外国語教育, 語学教育		
キーワード：	反転学習, 動画教材, e-Learning, Interactive Teaching, Flipped Learning		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・動画教材の作成と配布, 対面授業の展開 ・理工系学生に特化した英語教材の開発 		

研究内容：

研究課題

- 反転学習用動画教材の作成と配布, および活用
- 反転学習用教材のデータベースの構築と共有
- 理工系学生に特化した英語教材の開発
- 語学学習用アプリケーションとガジェットの開発

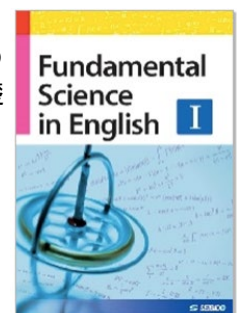
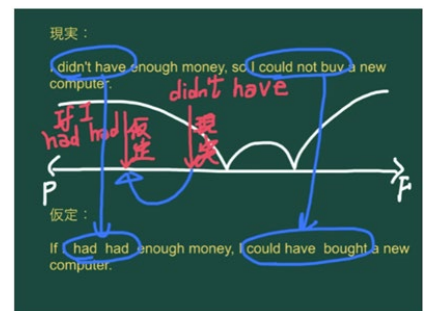
研究シーズ

● 反転学習

現行のカリキュラムで最大限の教育効果を得ることを目的として、学生の自律的学習を刺激・促進する反転学習を導入している。反転学習では、従来教室における一斉授業で行われていた学習項目の解説を、動画教材にまとめ、ネットを介して学生に配布する。学生はPC やスマートフォン、タブレット等で動画教材を視聴し、基本を把握したうえで教室での対面授業に臨む。教室ではインタラクティブ・ティーチングの手法を活用したドリル演習を繰り返すことで学習内容の定着を図る。この繰り返して授業にリズムが生まれた。これまでに作成しネットに公開した教材は80本を超え、学生一人あたりの聴取頻度は教材1本につき6.3回と高い。今後は高専間ネットワークを介して、他高専の教員と動画教材のデータベースを構築し、共有することで高専全体の英語教育に貢献したいと考えている。

● 理工系学生に特化した英語教材の開発

これまで主に全国高専英語教育学会 COCET の有志とともに理工系学生を対象とした英語教材の開発に関わってきたが、2017年には「Fundamental Science in English I 理工系学生のための基礎英語 I」の刊行に参加した。これは、英語の教科書を通して新しい知見を得るのではなく、小学校・中学校で既習の基礎的な事象を基本英語で表現するところなる、というスタンスで編集されている点で画期的な教材である。学習者は既知の事象を説明した英文に触れることで英文そのものに集中することができるため、学習に対する集中度が飛躍的に高まる。使用した英文はどれも、近い将来作成することになる英文論文にそのまま応用できるような構成とした。今後も FSE の続刊をはじめ理工系学生に特化した英語教材の作成に携わる予定である。



提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	